

## トマトすすかび病に対する効果の高い殺菌剤防除体系

利用対象：トマト・ミニトマト生産者

トマトすすかび病は、感染から発病までの**潜伏期間が長い**ため、初発確認後の殺菌剤散布では、発病を止められません！ また、**生育適温が28℃**のため、残暑を乗り切れば発病は緩慢になります！

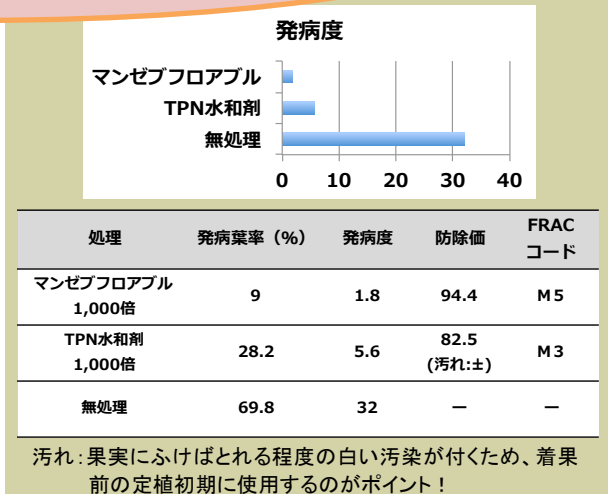
トマトに登録の殺菌剤11剤を用いたすすかび病に対する防除効果の比較では、**TPN 水和剤**および**マンゼブフロアブル**が優れます！

**定植直後から10月までが重要防除時期**

**効果の高い殺菌剤を選択**

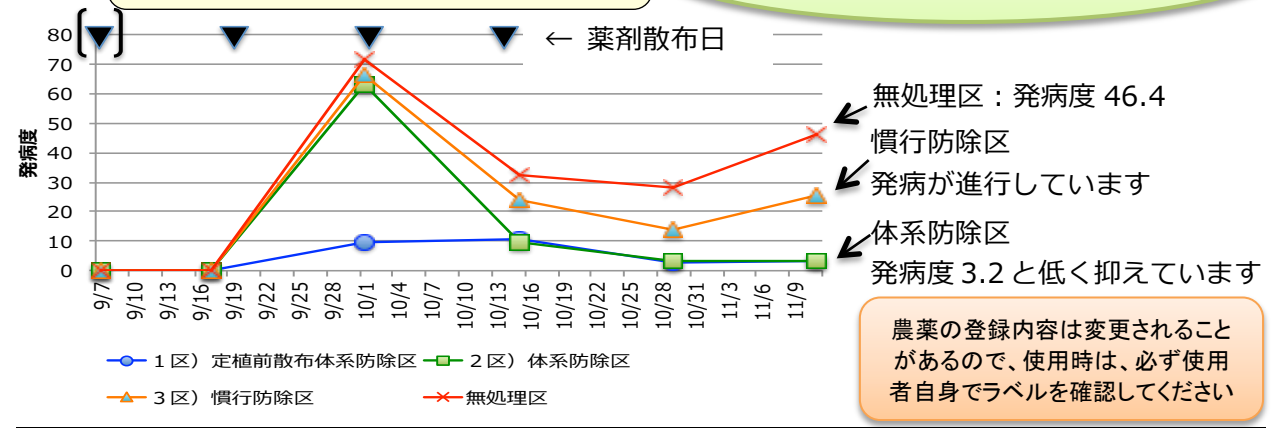
**<うまい散布方法>**  
**ゼロ散布！** 感染する前に予防散布！！  
**リレー散布！** 残効期間が切れる前に散布！！

気温	接種後日数			
	11	16	24	28
33℃	病斑形成		胞子形成せず	
30℃	病斑形成	胞子形成		
28℃	胞子形成			
25℃			病斑形成	胞子形成
20℃	病斑形成せず			



**体系防除区**  
 ○ TPN → TPN → マンゼブ F → マンゼブ F  
 □ TPN → TPN → マンゼブ F

### 効果の高い殺菌剤防除体系



農薬の登録内容は変更されることがあるので、使用時は、必ず使用者自身でラベルを確認してください

お問い合わせ先	農産物安全安心研究課      鈴木啓史、黒田克利      電話 0598-42-6360 中央農業改良普及センター    安田幸良、西方陽介      電話 0598-42-6716
参考になる資料	<a href="http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a>